発泡スチロール減容機の新

従来機より処理効率を20％

新たに発売した「エコロボ ハイブリッド」

発泡スチロールリサイクルシステムの開発・製造・販売を手掛ける谷口（名古屋市、加藤雅久社長、☎0532・88・8808）は、減容機の新シリーズ「エコロボ ハイブリッド」を発売した。

全国の加熱市場でトップクラスの納入実績を誇る従来機にプレヒーティング機能を追加し、処理効率を20％アップ。軽量化に使いやすさ、省エネ性も向上させた。

同システムは、原料投入ホッパー、減容機、ストックタンクなどで構成。新たに搭載したプレヒーティング機能は、減容機の加熱室に溜まった泡を循環させることで、加熱室内の温度を上昇させる。

また、主要部にはステンレス材を採用し、耐久性向上を図った。処理能力は、機種により異なるが、1時間当たり最大で100kgの発泡スチロールを減容できる。

また、主要部にはステンレス材を採用し、耐久性向上さらに付帯設備の減容は千葉・船橋市に設置された東京都中央卸売市場「豊洲市場」にも8台納入している。

新発売には、溜まった泡を循環させるプレヒーティング機能を追加し、処理効率を20％アップ。軽量化に使いやすさ、省エネ性も向上させた。

同システムは、原料投入ホッパー、減容機、ストックタンクなどで構成。新たに搭載したプレヒーティング機能は、減容機の加熱室に溜まった泡を循環させることで、加熱室内の温度を上昇させ